

JATA24-015

2024年12月12日

オーストラリア政府観光局×クイーンズランド州政府観光局×日本旅行業協会 『共同企画 サンゴ保全体験』SDGsプログラムを実施

一般社団法人日本旅行業協会（JATA）は、アウトバウンド促進協議会（JOTC*1）オセアニア・大洋州部会（会長：高橋正浩 株式会社日本旅行 常務執行役員 グローバル戦略推進本部 統括副本部長）における部会活動の一環として、オーストラリア政府観光局、クイーンズランド州政府観光局と共同で『共同企画 サンゴ保全体験』SDGsプログラムを実施します。

災害や様々な理由でダメージを受け危険な状態にあるサンゴの再生に向け、世界遺産 グレートバリアリーフがサステイナブルなものであり続けるための支援活動に協力。SDGsの取り組みである体験プログラムを通して環境保護および観光・旅行のさらなる価値向上、アウトバウンドの強化につなげていきます。

記

プログラム内容

- 開催日時：2025年3月5日（水）＝“サンゴの日”
- 開催場所：ケアンズからアクセスのポンツーン（人工浮島）“REEF MAGIC”チャーター
- 募集人数：200名
- スケジュール：
 - 9:00 ケアンズ港 出発（“REEF MAGIC”チャーター）
 - 9:15 政府観光局よりご挨拶（船内にて）
 - 10:30 世界遺産 グレートバリアリーフに浮かぶポンツーン（人工浮島）に到着
 - 11:00 海洋生物学者による特別講義、リーフコネクトプログラム※1、および各種アクティビティ※2
 - 12:00 ランチ
 - 13:30 海洋生物学者による特別講義、リーフコネクトプログラム※1、および各種アクティビティ※2
 - 15:30 世界遺産 グレートバリアリーフに浮かぶポンツーン（人工浮島）を出发
 - 17:00 ケアンズ港 到着

※1 海洋保護、先住民文化、市民科学に焦点を当てたプログラム

サンゴ保全の成功例「MARRS リーフスター」にサンゴのかけらを結び付け、サンゴ保全現場の確認

※2 シュノーケル、ダイビング、グラスボート、半潜水艦ツアー、アボリジナルピープルによる文化音楽体験など

- 寄付先：Citizens of the Great Barrier Reef（ABN 77 614 807 564）

Citizens of the Great Barrier Reefとは…

オーストラリア・ケアンズを拠点とする環境保護慈善団体。

グレートバリアリーフの健康状態を調査するプロジェクト「グレートリーフ・センサス」を立ち上げ、科学者、ダイバー、旅行者、環境保護団体に協力を仰ぎ、最先端 AI を活用してサンゴ礁の大規模なデータ収集を行い、サンゴ礁の保全に取り組んでいる。



- 参加旅行会社（12月12日時点）：
エイチ・アイ・エス、JTB、東武トップツアーズ、日本旅行、阪急交通社
※各社任意額をCitizens of the Great Barrier Reefへ寄付を予定しています。
- 対象：日本発着ツアー（募集型企画旅行、受注型企画旅行、オプションツアー）

以上

* 1) JATA アウトバウンド促進協議会について

JATA 海外旅行推進部が事務局運営を行い、観光局、航空会社、旅行会社、空港会社、大使館等から横断的に構成され、アウトバウンド（海外旅行）を促進するための様々な取組みを行う組織です。7つの部会があり、それぞれがテーマを持って取り組んでいます。

本事業に関するお問い合わせ先

JATA 海外旅行推進部：館林 a-tatebayashi@jata-net.or.jp TEL 03-3592-1274

報道関係の方からのお問い合わせ先

JATA 広報室：桑名・深谷 TEL 03-3592-1244